

至誠館大学

科目名	総合人間学Ⅰ・Ⅱ			コード		
英語表記						
担当教員名	原田憲一・安永正夫・李文相・福田一儀			年度	平成28年度	
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2	
授業形態		授業形式		履修形態	選択	
授業概要						
(1)映画製作にかかわるさまざまな技法を理解すること。(2)5つのジャンルの劇場映画を鑑賞して芸術全般に関して、鑑賞力を高めること。(3)映画を通じてさまざまな知識(倫理、宗教、思想、歴史、地理、風俗、音楽、ファッションなど)を吸収すること。なお、本授業は「総合人間学Ⅱ」と連動して実施する。						
到達目標						
(1)演技、カメラワーク、照明、編集、音響などに関する知識を身につけ、映画観賞力を高める。 (2)学んだ映画鑑賞法を、絵画鑑賞や演劇鑑賞に応用することができる。 (3)倫理、宗教、思想、歴史、地理、風俗、音楽、ファッションなど幅広い知識を得る。						
授業計画						
第1回	『バック・トゥー・ザ・フューチャー』(1985年)116分					
第2回	『猿の惑星』(1968年)106分					
第3回	『ロシアより愛をこめて』(1963年)115分					
第4回	『ローマの休日』(1953年)118分 + ハリウッド白熱教室1(50分)					
第5回	『追想』(1956年)105分 + ハリウッド白熱教室2					
第6回	『ゴースト』(1990年)127分 + ハリウッド白熱教室3					
第7回	『ウェストサイド物語』(1961年)151分					
第8回	『サウンド・オブ・ミュージック』(1965年)174分					
第9回	『天使にラブソングを』(1993年)100分 + ハリウッド白熱教室4					
第10回	『ライフ・イズ・ビューティフル』(1998年)117分+ ハリウッド白熱教室5					
第11回	『パッチ・アダムズ』(1998年)116分					
第12回	『フォレスト・ガンブ』(1994年)142分					
第13回	『ベストキッド』(1984年)127分					
第14回	『ロッキー』(1976年)119分					
第15回	『アイアンマン』(2008年)125分					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
授業態度、レポートの評価、授業への参加度を総合して評価する。毎回の出席が前提なので、5回以上の欠席(公欠を含む)した場合は単位を認定しない。なお、授業態度には、遅刻やレポートの提出遅れなども含まれる。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			40%	40%		20%
授業外学習		テキスト、教材				
鑑賞した映画について、ウェブサイト等で関連情報を調べる こと。		鑑賞した作品のリメイクやシリーズが図書館にあるので、 時間があれば鑑賞すること。				
参考書		受講生へのメッセージ				
		15本の作品を鑑賞して、映画の楽しさを味わってください。				
キーワード						